



2023年8月4日  
株式会社 阿波銀行

合資会社山口組の「SDGs 宣言書」策定について  
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 福永丈久、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、合資会社山口組（代表社員 家村 淑子、本社：徳島県三好市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

#### 【企業概要】

企業名	合資会社山口組
所在地	徳島県三好市三野町太刀野7番地
代表者	家村 淑子
業種	建設業
設立	1955年3月25日

#### ○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

# SDGs宣言書

2023年8月4日



## 合資会社山口組 代表社員 家村 淑子

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール
社会・経済	地域活性化・産業振興	持続可能な地域づくりのため、地域の社会的・経済的な活性化の取組みを行います。	① (1)継続的なボランティア清掃活動への参加 (2)地元の子供たちの安全確保の為の活動の実施	11 住み続けられるまちづくりを
			② (1)アドプト・プログラム吉野川清掃活動への継続参加（年5回参加） (2)2025年までに地元小、中学校の通学環境の整備、看板の設置等の実施	17 パートナシップで目標を達成しよう
経済	DXの推進	ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により働き方改革や業務の効率化、ビジネスモデルの変革に取り組めます。	① 現場作業へのドローン、ICT設備の導入	8 働きがいも経済成長も
			② 2025年までに導入	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
環境・経済	環境への配慮	エコアクション21認証を継続させるとともに、環境に配慮した製品の導入を行います。	① (1)二酸化炭素排出量削減の実施 (2)廃棄物の削減実施	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
			② (1)2025年までに事務所100%LED化 (2)2025年までに廃棄物20%減	13 気候変動に具体的な対策を
社会・経済	働き方の改革	はぐみ支援制度認証の継続取得を目指すとともに、従業員のワークライフバランスを重視した制度の導入を行います。	① (1)はぐみ支援制度継続取得のための行動実施 (2)従業員向けの新たな休暇制度の策定	3 すべての人に健康と福祉を
			② (1)3カ月毎の管理職向け研修の実施、継続 (2)2025年までに従業員の結婚、出産時の特別休暇制度の策定	8 働きがいも経済成長も

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



### SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。